

手動油圧ヘッド分離式工具
ポンプ部

HP-700A

取扱説明書

- 本製品は、JIS規格（JIS C 9711）対応ポンプです。
マクセルイズミ製のJISマークが表示されているヘッド部と組み合わせて使用すると、JIS C 9711に適合します。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

マクセルイズミ株式会社

このたびはお買いあげいただきありがとうございました。
この取扱説明書は本機の取り扱い、注意事項などについて説明してありますので使用前によくお読みの上、正しく安全にご使用ください。

目 次

■安全上のご注意P 1 ~ P 3
■高圧ゴムホースご使用上のご注意P 4
■各部の名称P 5
■仕様P 5
■使用方法P 6
■保守・点検P 7

安全上のご注意

- ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みのうえ、指示に従って正しく使用してください。

危険の程度により、次のように見出しを使い分けていますので、その内容を十分理解してから本文をお読みください。

 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

警告

1. ヘッド部を人に向けるような使用はしないでください。
 - 破損し飛散する恐れがあります。
2. 圧力規制装置には手をふれないでください。
 - 規定の値より低いと適正な作業が行えません。又、反対に高いとヘッド、油圧ホースが破損し飛散する恐れがあります。
3. 作業中は本体を確実に保持してください。
 - 確実に保持していないと本体が振れ、けがの原因になります。
4. 作業場の周辺状況も考慮してください。
 - 暗い作業場は十分に明るくしてください。
暗い場所での作業は、事故の恐れがあります。
5. 保護めがねを使用してください。
 - 作業時は、保護めがねを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。切削したものや粉じんが目や鼻に入る恐れがあります。
 - カッタ、パンチ等は細かな被切断物等が飛散する恐れがあります。

注意

- 1. 高所作業のときは下に人がいないことをよく確かめてください。**
 - 本体を落としたとき等、事故の原因になります。
- 2. 作業場は、いつもきれいに保ってください。**
 - ちらかった場所や作業台は、事故の恐れがあります。
- 3. 子供を近づけないでください。**
 - 作業員以外、工具に触れさせないでください。けがの恐れがあります。
 - 作業員以外、作業場に近づけないでください。けがの恐れがあります。
- 4. 使用しない場合は、きちんと保管してください。**
 - 乾燥した場所で、子供の手の届かない高い所または鍵のかかる所に保管してください。事故の恐れがあります。
- 5. きちんとした服装で作業してください。**
 - だぶだぶの衣服やネックレス等の装身具は、着用しないでください。可動部に巻き込まれる恐れがあります。
 - 屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑り止めのついた履物の使用をお勧めします。すべりやすい手袋や履物はけがの恐れがあります。
 - 長い髪は、帽子やヘルメット等で覆ってください。可動部に巻き込まれる恐れがあります。
- 6. 無理な姿勢で作業をしないでください。**
 - 常に足もとをしっかりさせ、バランスを保つようにしてください。転倒してけがの恐れがあります。
- 7. 工具は、注意深く手入れをしてください。**
 - ヘッド部の交換は、取扱説明書に従ってください。けがの恐れがあります。
 - 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリースが付かないようにしてください。けがの恐れがあります。
- 8. 油断しないで十分注意して作業を行ってください。**
 - 工具を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周りの状況等十分注意して慎重に作業してください。軽率な行動をすると事故やけがの恐れがあります。
 - 常識を働かせてください。非常識な行動をすると事故やけがの恐れがあります。
 - 疲れている場合は、使用しないでください。事故やけがの恐れがあります。

注意

9. 損傷した部品がないか点検してください。

- 使用前に、部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
- 部品の破損、取付け状態、その他作業に影響を及ぼす全ての箇所に異常がないか確認してください。
- 部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの代理店または弊社営業部に修理を依頼してください。

10. 工具の修理は、代理店または弊社営業所に依頼してください。

- サービスマン以外の方は分解したり、修理・改造は行わないでください。
- 本体の異常に気付いた時は点検修理に出してください。
- 本製品は、該当する社内規格に適合していますので改造しないでください。
- 修理は、必ずお買い求めの代理店または弊社営業所にお申し付けください。修理の知識や技術のない方が修理をしますと、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの恐れがあります。

■高圧ゴムホースご使用上のご注意

- 先に「安全上のご注意」を記載しましたが高圧ゴムホース（以下ホース）を使用する際、さらに次に記載する事項を守ってください。
- ホースを誤って使用しますとホースが破損し、損害や損傷を及ぼす恐れがあります。

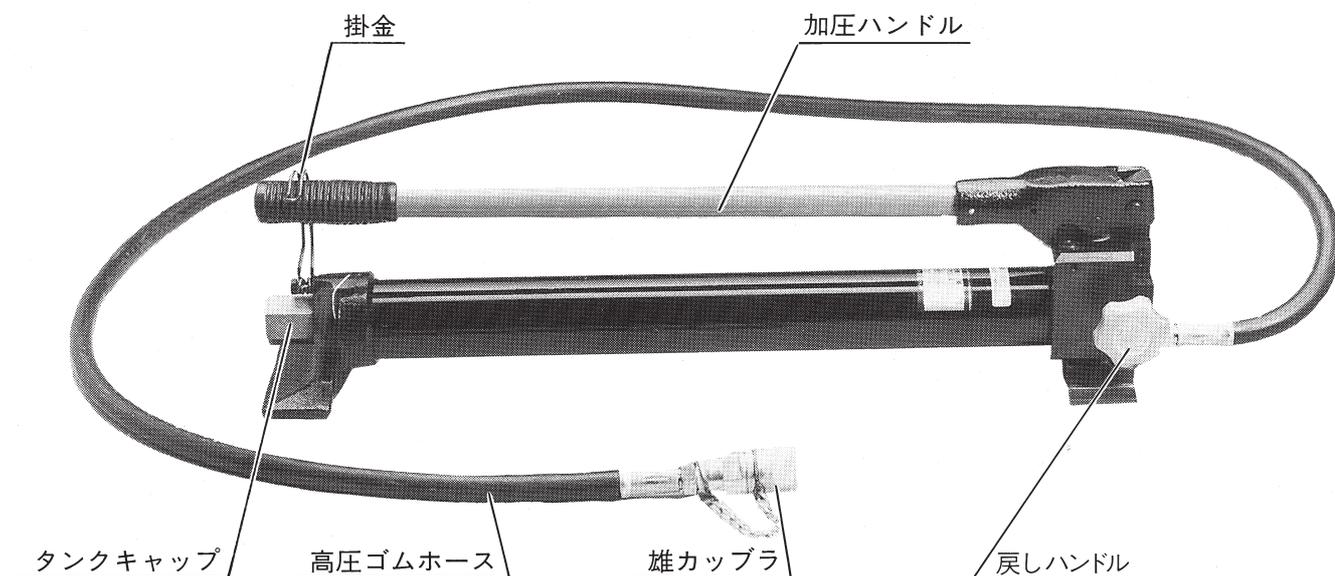
⚠ 警告

- ホースの仕様は、68.5MPaです。規定の内圧以上に圧力をかけないでください。ホースが破裂して損害や損傷をおよぼすおそれがあります。
- 加圧中のホースには絶対にさわらないでください。ホースが破裂したときけがをする恐れがあります。
- 通電させないでください。通電によるホース破損や感電の恐れがあります。
- 工具の使用前には、ホースの損傷、補強層の露出等、異常がないか確認してください。異常がある時は使用しないでください。
- ホースをねじったり引っ張った状態で加圧しないでください。ホース、金具部付近で破壊することがあり危険です。

⚠ 注意

- 高圧ゴムホースを接続するとき、カップラに異物が付着していたり、汚れている場合は、きれいにしてください。そのまま無理に接続すると中のパッキンを傷め、油漏れの原因となります。
- ホースを引っ張って工具を移動させるようなことはしないでください。
- ホースを折らないでください。折れた部分で早期に破損し危険です。
- ホースは、直射日光を避け-10℃～+40℃の温度範囲で、有毒ガスのない乾燥した冷暗所に保管してください。
- ホースの上には重量物を置かないでください。
- ホースは、極端に曲げた状態で保管しないでください。
- ホースは、物の角に当たった状態で保管しないでください。
- ホースは、長期間保管しないでください。（最高1年程度を目安としてください。）
- ホースは、埃をかぶらないように、またホース内にチリ・ゴミ等が入らないようにしてください。
- ホースは規定された最小曲げ半径（150mm）より小さく曲げて使用しないでください。
- ホースは車両等で踏まないでください。

■各部の名称



■仕様

- 設定圧力 68.5MPa
- タンク油量 700cm³
- 作動油 シェルテラス S2 V15 (T15)
- 高圧ゴムホース 2 m
- 質量 10kg
- JIS適合ヘッド部 12号A ,12号H

■使用方法

1. 加圧ハンドル固定用の掛金を外してください。
2. 戻しハンドルを左 (←DOWN-) にまわした後、高圧ゴムホース先端の雄カップラをヘッド部の雌カップラに確実に接続します。

(図1・2)

不確実なまま使用しますと、危険であるのと、ヘッド部のラムが上昇したまま下がらなくなる事があります。

3. 戻しハンドルを右 (-UP→) にいっぱい回します。(図3)
 4. ヘッド部の準備ができましたら加圧ハンドルを操作して作業を開始してください。
 5. 設定圧力に達しますと自動的に圧力規制装置が作動して圧着完了の合図を示す報知音を発生し、加圧ハンドルに軽いショックを感じます。
 6. 作業が完了しましたら加圧ハンドルの操作をやめ、戻しハンドルを左 (←DOWN-) にまわします。(図4)
- 送られた作動油はオイルタンク内に戻り、ヘッド部のラムは自動降下します。
7. ヘッド部のラムが下死点に戻ったのを確認してからカップラを取り外してください。

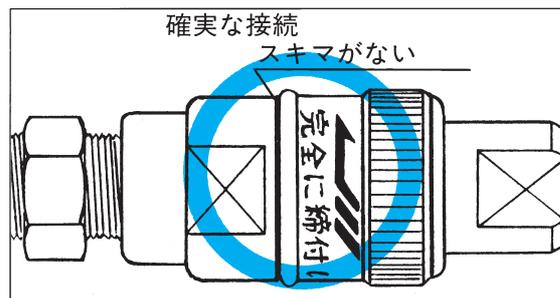


図1

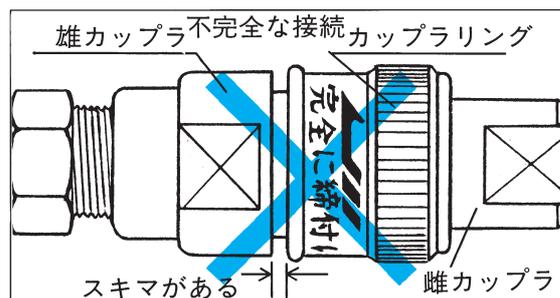


図2

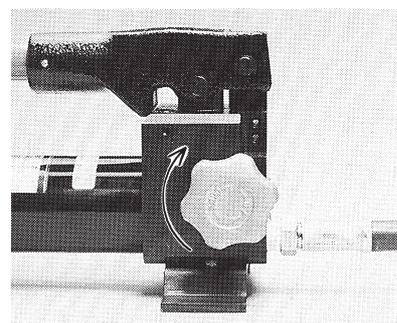


図3

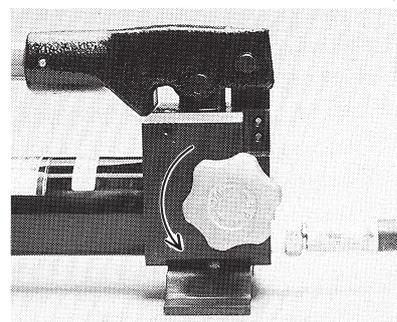


図4

■保守・点検

1. カップラの取り付け、取り外しを頻繁に行いますと長い間には作動油が減少する事があります。このような時には次の要領で作動油を補給してください。

- (1) タンクキャップを左にまわして外します。
- (2) ポンプを立てた状態でプラグをまわしながら抜き取ります。プラグは左右どちらでもまわります。
- (3) ポンプを立てたままオイルタンクへ給油してください。この時オイラー（油さし）を使用すると作動油もムダにならず給油もらくに行えます。

(図5)

- (4) 口元までいっぱい入れたらプラグを入れずポンプを立てたまま加圧ハンドルを5～6回操作してください。この時戻しハンドルは左（←DOWN）にまわしておいてください。オイルタンク内に空気が残っている場合はこの操作で空気抜きができます。

- (5) 空気が抜けると補給した作動油のレベルが下がりますので再びいっぱいになるまで補給してください。この後、オイルタンクに静かに根元まで差し込めば補給完了です。タンクキャップを元の位置へねじり込んでください。

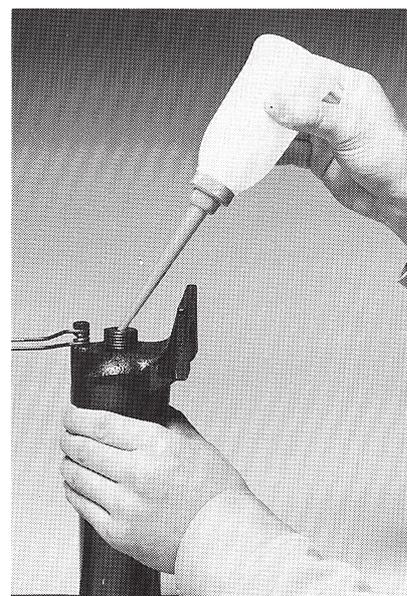


図5

2. ポンプに使用する作動油はシェルテラス S2 V15 (T15) です。代理店へお申し付けください。
3. このポンプの円滑な作動を長く保つため、各摺動部には時々機械油を注油してください。
4. 作動油は6ヶ月に1回、全量を交換してください。約700cm³です。交換はオイルタンクの作動油を全て排出後1.と同じ要領で行ってください。
5. 日常の保守・点検が充分であれば、故障の生じる事はありませんが、万一生じた場合はもよりの代理店、又は当社営業所か本社販売部へお問い合わせください。



保証書

この商品は厳密なる品質管理および検査を経てお届けしたものです。お客様の正常なご使用状態で、万一故障した場合は、本保証書記載の保証規定により無料修理いたします。

※修理はお買い上げの販売店に必ず本保証書をご提示の上ご依頼ください。

※本保証書は再発行しませんので大切に保管してください。

マクセルイズミ株式会社

長野県松本市大字笹賀3039番地
 本社 TEL 0263-58-5757
 東京営業所 TEL 03-6891-2111
 大阪営業所 TEL 06-7663-0667
 名古屋営業所 TEL 052-775-5388
 福岡営業所 TEL 092-483-5700
 仙台営業所 TEL 022-287-1761

型名	HP-700A		
お買上げ年月日	年 月 日	保証期間	6ヶ月間
★お客さま	ご住所	参照用	
	会社名		
	お名前		
★販売名	住所		
	店名	TEL	

★印の欄は必ずご記入下さい。

保証規定

- 保証期間内に正常な使用状態において万一故障した場合には無料で修理いたします。
- つぎのような場合には保証期間内でも有料修理となります。
 - 使用上の誤りあるいは不当な改造および修理による故障または損傷。
 - お買上げ後の落下および輸送上の故障または損傷。
 - 過負荷および誤圧による故障または損傷。
 - 消耗品の損傷。
 - 火災・塩害・風水害・異常電圧・その他天災地変による故障、または損傷。
 - 保証書のご提示がない場合。
 - 本保証書の所定事項の未記入あるいは字句を書き換えられた場合。
- 本保証書は日本国内においてのみ有効です。
(This Warranty is valid only Japan)

年月日	サービス内容	担当者
年月日		
年月日		
年月日		



マクセルイズミ株式会社

本 社 〒399-8721 長野県松本市大字笹賀3039番地 ☎0263(58)5757(代) FAX0263(86)1002
東京営業所 〒151-8527 東京都渋谷区元代々木町30-13 ☎03(6891)2111(代) FAX03(6891)1700
大阪営業所 〒542-0081 大阪市中央区南船場2-1-10(CARP南船場第1ビル9階) ☎06(7663)0667(代) FAX06(7663)0668
名古屋営業所 〒465-0034 愛知県名古屋市名東区高柳町207番地 ☎052(775)5388(代) FAX052(776)2163
福岡営業所 〒812-0008 福岡市博多区東光2丁目22-30 ☎092(483)5700(代) FAX092(483)5704
仙台営業所 〒984-0032 宮城県仙台市若林区荒井一丁目21番地の8 ☎022(287)1761(代) FAX022(287)1768